

施策評価シート

施策番号【3-2】

評価年度	令和3年度	事業実施年度	令和2年度	施策主管次長名	小野田 浩 司	
施策番号	3-2	施策名	交通事故や犯罪のないまちをつくらう		総合計画掲載頁	104~107
主担当部名	総務部					
関連課名	防災安全課、福祉課、産業課、道路河川課					

1 総合計画の目標指標 PLAN & GOAL (中間値と最終目標値の確認)

取組分野	交通安全	R5 中間値	R10 目標値
指標名	市内での人身交通事故件数		
指標の定義	1年間の市内での人身交通事故件数	250件以下	220件以下
取組分野	防犯	R5 中間値	R10 目標値
指標名	市内での犯罪発生件数		
指標の定義	1年間の市内での犯罪発生件数	490件以下	440件以下
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			

2 成果指標 DO & REPLAN (実績を計上し計画値を再設定)

指標①	取組分野1 交通安全		単位 回	R1実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5目標
	成果指標名	交通安全に係る教室や啓発活動などの実施回数			45	29	46	47
対象	市内全市民		指標設定の考え方	市民の交通安全意識の高揚を図るため、交通安全に関する教室や啓発活動などを実施する。				
			把握方法	一般市民や子どもたちを対象として実施した交通安全に係る教室や啓発活動などの回数				

指標②	取組分野2 防犯		単位 基(台)	R1実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5目標
	成果指標名	市内の防犯灯と防犯カメラの合計設置基(台)数			2,543	2,678	2,560	2,575
対象	防犯灯と防犯カメラ		指標設定の考え方	防犯対策を推進するため、市内に防犯灯や防犯カメラを設置する。				
			把握方法	市内に設置した防犯灯と防犯カメラの合計数				

指標③	取組分野2 防犯		単位 回	R1実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5目標
	成果指標名	防犯に係る教室や啓発活動などを実施した回数			19	4	20	21
対象	市内全市民		指標設定の考え方	市民の防犯意識の高揚を図るため、防犯に関する教室や啓発活動などを実施する。				
			把握方法	一般市民や子どもたちを対象として実施した防犯に関する教室や啓発活動の回数				

指標④			単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
	成果指標名							
対象			指標設定の考え方					
			把握方法					

指標⑤			単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
	成果指標名							
対象			指標設定の考え方					
			把握方法					

3 施策の評価

ANALYSE & CHECK(分析・評価)

施策の分析 (現状の確認と近隣調査)	
施策の現状	・交通安全では、各世代への交通安全教室の開催や立哨活動、店頭啓発活動などを実施し、近年の市内での交通人身事故件数は減少傾向にある。 ・防犯では、地域の自主防犯パトロール隊活動や深夜防犯パトロール事業、防犯カメラの設置費補助事業などを実施し、近年の市内での犯罪認知件数は減少傾向にある。
成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民 ・自分の身は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」という考え方に立ち、家族ぐるみ、地域ぐるみで交通安全、防犯意識の高揚に努める。 ・行政や警察と連携して交通事故や犯罪のないまちづくりを進める。
	行政 ・交通事故や犯罪について市民への情報提供、交通安全、防犯に関する教室や啓発活動を実施する。 ・市民や警察と連携して交通事故や犯罪のないまちづくりを進める。
近隣市町との比較	・近隣市町において、交通安全、防犯に関する事務事業を実施していない自治体はない。

施策の評価 (活動の振り返りと課題の明確化)	
令和元年度以前の活動	・交通安全では、各世代への交通安全教室の開催や立哨活動、店頭啓発活動、歩行者保護モデルカー活動などを実施したほか、新たに高齢ドライバーのアクセルとブレーキの踏み間違えによる事故抑止を目的に「後付け安全運転支援装置設置費補助事業」を開始した。 ・防犯では、行政区が防犯カメラを設置しやすくするため、防犯カメラ設置費補助金の補助率を2分の1から5分の4へ引き上げ、更なる地域防犯力の向上に努めた。
令和2年度の活動内容	・交通安全では、園児、児童への交通安全教室の開催や立哨活動、歩行者保護モデルカー活動、高齢者への交通安全啓発チラシの配布などを実施した。 ・防犯では、緑丘小学校の防犯少年団が作成した防犯啓発イラストを使用した封筒を作成し、高齢者及び高齢者に係る業務を行う方に配布した。 ・「安全安心キャラクターみよ獅子ちゃん」の活用範囲を広げるため、貸出用の着ぐるみを作成した。
積み残し課題等	・自転車乗車用ヘルメットの高校生以上の着用率を向上させる必要がある。 ・防犯においては、特殊詐欺の巧妙化やインターネット犯罪など、新しい手口での犯罪が発生・増加しているため、市民への対応方法等の周知、啓発を行う必要がある。 ・自動車盗難件数は、増加しつつあるため、自主的な防犯対策の意識向上を図る必要がある。

4 活動計画

ACTION & PLAN(目標を達成するために起こす行動)

令和3年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	・交通事故、犯罪の抑止に特効薬はなく、今後も地道な啓発活動を続けるなど、市民、地域と警察、行政が連携し一体となって活動していく必要がある。
施策目標達成に向けての令和3年度の活動内容	・子どもから高齢者までの全世代の交通安全、防犯に対して意識が高揚するよう、啓発活動を引き続き実施していく。 ・交通安全では、令和元年度から新たに始めた「後付け安全運転支援装置設置費補助事業」をはじめ、歩行者保護モデルカー活動を継続して実施していく。 ・ヘルメット購入費に対し補助することで、ヘルメットの着用率を向上させる。 ・防犯では、新しい手口での犯罪に関する啓発活動を実施していくほか、鉄道駅に設置し老朽化した防犯カメラをネットワーク型に更新する。 ・「安全安心キャラクターみよ獅子ちゃん」の着ぐるみの貸出しを行うほか、各種イベントにおいて啓発活動で使用していく。